

作品リスト

| 通番 | 名称 | 作者/窯 | 時代 | 列品番号 |
|----|------------------|---------------------------|-----------|--------|
| 1 | 多彩釉花唐草貼付文飾壺 | イギリス ミントン社 | 1873年 | G-1440 |
| 2 | 色絵金彩双耳脚付容器 | イギリス コールポート社 | 19世紀 | G-1445 |
| 3 | 色絵金彩婦人獅子図木瓜形盆 | イギリス | 19世紀 | G-1458 |
| 4 | 色絵金彩人物像皿(男・女) | イギリス | 19世紀 | G-1446 |
| 5 | 多色ガラス双耳小瓶 | オーストリア | 19世紀 | G-1586 |
| 6 | 紫色ガラス扁壺形小瓶 | オーストリア | 19世紀 | G-1612 |
| 7 | 淡青色ガラス手付小瓶 | オーストリア | 19世紀 | G-1613 |
| 8 | 赤色ガラス草花浮文手付小瓶 | オーストリア | 19世紀 | G-1583 |
| 9 | 乳白色ガラス紅緑草花浮文手付小鉢 | オーストリア | 19世紀 | G-1582 |
| 10 | 色絵金彩婦人図皿 | ドイツ バイエレン | 19世紀 | G-1264 |
| 11 | 錆絵葡萄図角皿 | 日本 乾山 | 江戸時代・18世紀 | G-33 |
| 12 | 多彩釉四耳瓶 | イギリス ドルトン社 | 19世紀 | G-1463 |
| 13 | 釉裏彩花卉図瓶 | イギリス ドルトン社 | 19世紀 | G-1466 |
| 14 | 白地金彩瓔珞文透彫長頸瓶 | イギリス | 19世紀 | G-1273 |
| 15 | 色絵金彩透彫文杯 | イギリス ロイヤル・ウースター社 | 19世紀 | G-1271 |
| 16 | 色絵虫魚浮彫飾皿 | ドイツ | 19世紀 | G-1282 |
| 17 | 騎士図浮文把手付杯 | ドイツ | 19世紀 | G-1439 |
| 18 | 多彩人物図浮文四足扁壺 | ドイツ | 19世紀 | G-1432 |
| 19 | 多彩聖人図浮文錫蓋把手付瓶 | ドイツ | 19世紀 | G-1442 |
| 20 | 色絵鳥図皿 | イギリス トークェー・テラコッタ社 | 19世紀 | G-1278 |
| 21 | 淡青地白花浮文双耳瓶 | イギリス ウェッジウッド社 | 19世紀 | G-1276 |
| 22 | 染付山水樓閣図水注 | イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1434 |
| 23 | 薄紫地花卉貼付文小瓶 | イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1279 |
| 24 | 青釉龍濤文連壺 | イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1281 |
| 25 | 青地色絵花卉文花瓶 | C・ドレッサー/イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1436 |
| 26 | 青地色絵花卉文皿 | C・ドレッサー/イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1428 |
| 27 | 青地色絵飛鳥文皿 | C・ドレッサー/イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1429 |
| 28 | 青地色絵日本風俗図扁壺 | C・ドレッサー/イギリス ミントン社 | 19世紀 | G-1430 |
| 29 | 彩色ガラス七宝草花文盆 | フィリップ=ジョゼフ・プロカール/フランス | 19世紀 | G-1572 |
| 30 | 彩色ガラス七宝草花文小器 | フィリップ=ジョゼフ・プロカール/フランス | 19世紀 | G-1571 |
| 31 | 白色ガラス蛙蜻蛉刻文瓶 | イギリス | 19世紀 | G-1565 |
| 32 | 白色ガラス瓔珞刻文瓶 | イギリス | 19世紀 | G-1563 |
| 33 | 白色ガラス切子厚手籠目文瓶 | イギリス | 19世紀 | G-1564 |
| 34 | 白色ガラス草花刻文碗 | イギリス | 19世紀 | G-1566 |
| 35 | 白色ガラス切子籠目文脚付杯 | イギリス | 19世紀 | G-1569 |
| 36 | 白色ガラス花鳥文杯 | イギリス | 19世紀 | G-1570 |
| 37 | 白色ガラス切子文瓶 | イギリス | 19世紀 | G-1567 |
| 38 | 白色ガラス切子花菱文杯 | イギリス | 19世紀 | G-1568 |
| 39 | 茶釉斑文瓶 | イギリス リンソープ・アート・ポタリー社 | 19世紀 | G-1468 |
| 40 | 梨子釉瓶 | イギリス リンソープ・アート・ポタリー社 | 19世紀 | G-1469 |
| 41 | 茶褐釉渦文鉢 | イギリス リンソープ・アート・ポタリー社 | 19世紀 | G-1470 |
| 42 | 青斑釉瓶 | イギリス リンソープ・アート・ポタリー社 | 19世紀 | G-1471 |
| 43 | 白色ガラス蓋付容器 | アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1588 |
| 44 | 緑彩茶彩葉文脚付瓶 | ルイス・C・ティファニー/アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1598 |
| 45 | 黄地銀彩赤彩流文小壺 | ルイス・C・ティファニー/アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1602 |
| 46 | 黒地金彩流文瓶 | ルイス・C・ティファニー/アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1600 |
| 47 | 黄地赤褐彩流文広口壺 | ルイス・C・ティファニー/アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1605 |
| 48 | 紫地緑彩瓢形瓶 | ルイス・C・ティファニー/アメリカ ティファニー社 | 19世紀 | G-1611 |

特集

ドレッサーの贈り物

明治にやってきた欧米のやきものとガラス

平成28年9月27日(火)～12月18日(日) 東京国立博物館 本館14室

Thematic Exhibition **Dresser's Gifts: Ceramics and Glass from Europe and America in the Meiji Era**

Tuesday, September 27 – Sunday, December 18, 2016 Room 14, Honkan, Tokyo National Museum



テラコッタ(赤土の素焼き)の皿です。枝木にとまる鳥はどこか東洋の絵画を連想させます。

20 色絵鳥図皿
イギリス トークェー・テラコッタ社 19世紀
Dish, Bird design in overglaze enamel
By Torquay Terra-Cotta Co., Ltd., United Kingdom

現在からちょうど140年前の1876年(明治9)、一人のイギリス人が来日しました。名はクリストファー・ドレッサー(1834～1904)。欧米における「ジャポニスム」を牽引した著名なデザイナーです。

このとき彼は、サウス・ケンジントン博物館(ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館の前身)が日本のために集めたヨーロッパの美術工芸品を携えていました。それは、1873年に開催されたウィーン万国博覧会の出品作品や会場で買い集めた大切な品物を積んで日本へ向かったフランス船ニール号が沈没した、という悲報を聞いたサウス・ケンジントン博物館長の厚意による贈り物でした。

充実した日本滞在を終えたドレッサーは、その後もイギリスから工芸品を日本の博物館に寄贈したと伝えられています。さらに日本で集めた美術品をニューヨークのガラス作家ルイス・カムフォート・ティファニーへ届けるなど、アメリカにおける日本風デザインの流行にも強い影響を与えたのです。

本特集では、ドレッサーによってもたらされた作品を中心に、東京国立博物館の草創期に収集された欧米のやきものとガラスを紹介します。

A British man arrived in Japan 140 years ago, in 1876. His name was Christopher Dresser (1834–1904), a renowned designer who was one of the major figures of the Japonisme movement in Western art.

He brought decorative art objects from Europe, collected by the South Kensington Museum (forerunner of the Victoria and Albert Museum) as gifts to Japan. The gifts were by the courtesy of the South Kensington Museum director, who heard news that the freight steamer Nil sank on its way to Japan, carrying valued items that Japan exhibited and purchased at the Vienna World Exposition of 1873.

After his fruitful stay, Dresser also sent two groups of artworks from Britain to Japan. Moreover, he sent some of the artworks he collected in Japan to Louis Comfort Tiffany, the American designer and glass artist. Dresser had a strong influence on the spread of Japanese-style design in America as well.

This exhibition features ceramics and glass vessels from Europe and America, which the Tokyo National Museum acquired in the early Meiji era.

ドレッサーが運んできたヨーロッパのやきものとガラス — ウィーン万国博覧会をきっかけに……



ウィーン万国博覧会会場風景

明治政府が初めて公式に参加した1873年（明治6）のオーストリア・ウィーン万国博覧会。政府は博覧会事務局を設置し、前年に湯島聖堂大成殿で準備をかねた初の博覧会を開いています。これが現在の東京国立博物館の創設となりました。

折からの日本美術への強い関心もあり、万博の展示は盛況を博したと伝わっています。さらに政府は西洋の技術を学ぶため多くの人材を現地へ派遣し、博覧会出品作品などを買い集めて持ち帰らせました。

ところが、出品作品や購入品を積んだフランス船ニール号が日本へ向かう途中で沈没、有望な技術者さえも失う大惨事が起きました。この悲報を受け、イギリスのサウス・ケンジントン博物館長フィリップ・クニリフ＝オーウェンがヨーロッパの美術品を集めて日本の博物館へ贈ることを提唱したのです。

そして1876年（明治9）の冬、オーウェンの手紙と300点を超える寄贈品を携えたクリストファー・ドレッサーが来日しました。そのうち最も多かったのがやきものとガラスです。ドレッサーはこれら寄贈品の選定と収集に深くかかわっており、この寄贈には日本の博物館や技術者への教育という啓蒙的な意味も込められていました。

いま東京国立博物館に現存する58点※の寄贈品のうち、19世紀ヨーロッパの残り香を漂わせる華やかなうつわを紹介します。

※寄贈品の多くは工業見本として使用されるなどして大半が散逸した。現在、東京国立博物館のほか、京都国立博物館に5点収蔵されている。

沈没したニール号引き揚げ作品

奇跡的に引き揚げられたうちの1点。描かれているのは、バイエルン国王マクシミリアン2世の王妃マリーです。



10 色絵金彩婦人図皿 ドイツ バイエルン 19世紀
Dish, Female portrait in overglaze enamel and gold Bayern, Germany



25 青地色絵花卉文花瓶
イギリス ミントン社 19世紀
Flower Vase, Flowers design in overglaze enamel on blue ground
By Christopher Dresser for Minton & Co., United Kingdom



26 青地色絵花卉文皿
イギリス ミントン社 19世紀
Dish, Flowers design in overglaze enamel on blue ground
By Christopher Dresser for Minton & Co., United Kingdom

イギリスを代表する製陶会社の一つミントン社にドレッサーがデザインを提供して焼かれたもの。トルコブルーの釉が目映えます。

12 多彩釉四耳瓶

イギリス ドルトン社 19世紀
Flower Vase with Four Handles, Polychrome glaze
By Doulton & Co., United Kingdom



19世紀、ロンドンで独特の装飾的な陶器を創り出したドルトン社。その人気作家ジョージ・ティンワースの作と考えられます。



19 多彩聖人図浮文錫蓋把手付瓶
ドイツ 19世紀
Handled Vase with Pewter Lid, Saints design in relief with polychromy Germany



16 色絵虫魚浮彫飾皿 ドイツ 19世紀
Decorative Dish, Insect and fish design in relief with overglaze polychromy Germany

当時ドイツではずっしりと古風な作りの陶器、または中世陶器の写しが人気を博していました。ドレッサーの贈り物には19世紀の流行を反映したさまざまな種類のやきものをみることができます。

生まれ変わったガラスのうつわ

ドレッサーが伝えたガラス作品のなかには、脆弱なため壊れてしまったものが多くありました。このたび最新の修理技術を用いて、140年前の姿を取り戻すことができました。



31 白色ガラス蛙蜻蛉刻文瓶
イギリス 19世紀
Vase, Clear glass, Incised frog and dragonfly design
United Kingdom

ガラスの中心はイギリスのジェームズ・グリーン＆ネフュー社が扱った作品。この酒瓶は『北斎漫画』を題材に蛙とトンボを表わしたもので、1876年のパリ万博に出品されたうちの1点です。



蛙蜻蛉刻文拡大

修理：陶磁器修復たま工房 北野珠子 / 東京国立博物館保存修復課 野中昭美



36 白色ガラス花鳥文杯
イギリス 19世紀
Goblet, Clear glass, Flower and bird design
United Kingdom

繊細なグラビュール（装飾彫刻）で、愛らしい鳥が描かれています。



37 白色ガラス切子文瓶
イギリス 19世紀
Vase, Cut clear glass
United Kingdom

いわゆる切子と呼ばれるカットが施された小瓶。同じ白色（透明）ガラスにもさまざまな装飾技法をみることができます。

ドレッサーにつづく — 「ホルム氏」と「チファニー氏」による寄贈

東京国立博物館が草創期に受け入れた欧米のやきものやガラス。残念ながらその後、長い歴史のなかで注目されることはありませんでした。しかし近代美術の動向に注目が集まるいま、ドレッサーにまつわる作品もまた見直されつつあります。

ここでは明治前半期に博物館に寄贈されたその他の作品の中から、ドレッサーの影響を受けた貴重な作品を紹介します。

まず1880年（明治13）に寄贈されたイギリス、リンソープ・アート・ポタリー社のやきもの。この会社は創業したての新しい製陶会社で、当初ドレッサーがデザインを行ないました。つまり当時流行の最前線にあったうつわといえるでしょう。ドレッサーとともに博物館の古い

台帳に名が残る「ホルム氏」とチャールズ・ホーム（1848～1923）はドレッサーと共同で輸入会社を設立した人物で、のちに美術評論でも有名になりました。

「チファニー氏」はアメリカの宝飾デザイナーでガラス作家としても知られるルイス・カムフォート・ティファニー（1848～1933）です。ドレッサーと深い親交があり、ジャポニスムにも強い関心を持っていました。1876年に始まるドレッサーの日本滞在には、ティファニーのために美術品を収集する目的があったといわれています。ドレッサーによって日本美術を直接的に理解する手がかりを得たティファニーは、1893年のシカゴ万国博覧会に出品したガラス作品が高い評価を得ました。これを契機として、2年後に日本への寄贈が実現したのです。

41 茶褐釉渦文鉢
イギリス
リンソープ・アート・ポタリー社
19世紀
Bowl, Light brown glaze, swirl design
By Linthorpe Art Pottery, United Kingdom



ドレッサーは日本の陶器に強い影響を受け、リンソープ・アート・ポタリー社で釉の発色や効果などについて、さまざまな試みを行ないました。

44 緑彩茶彩葉文脚付瓶
アメリカ ティファニー社
ルイス・カムフォート・ティファニー
19世紀
Footed Vase, Leaf design in green and brown
By Louis Comfort Tiffany for Tiffany & Co., United States

うつわ全体が一枚の葉であるかのよう。現代の私たちにも洗練された斬新なデザインに映ります。

